

適正発注(発注の早期化)を促すレターの発出について

令和7年3月

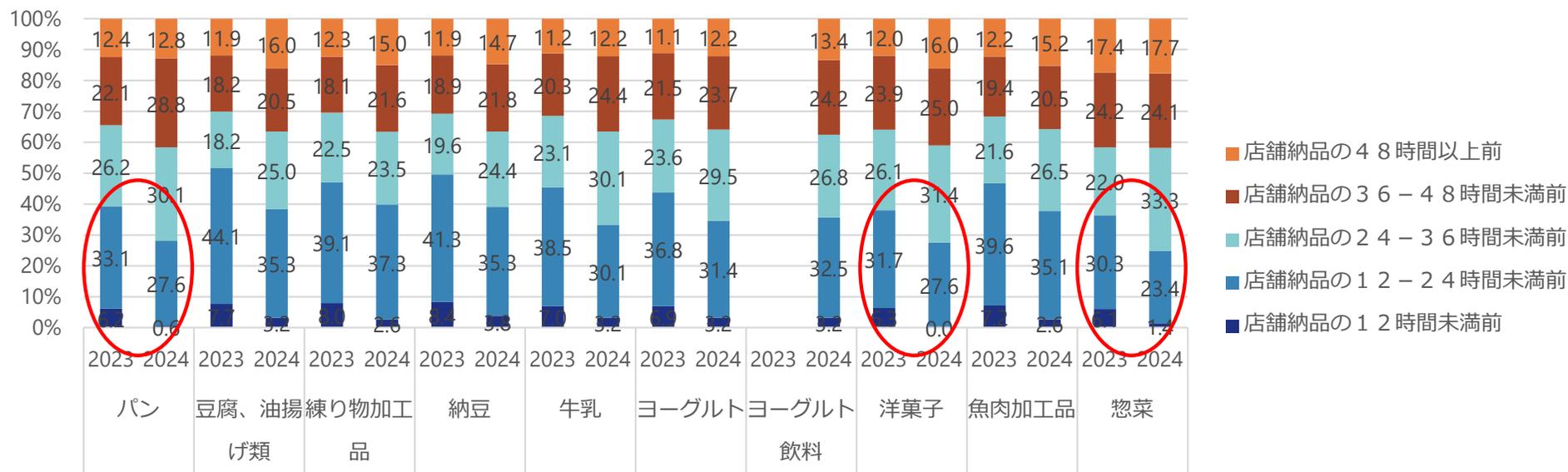
食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム

適正発注(発注の早期化)を促すレターの発出について

- 適正発注（発注の早期化）が進みつつある現状をふまえ、各社代表者個別に、状況報告と、取り組み拡大の要請文書を発出するなどして、取り組み拡大を図りたい。

【Q2】各カテゴリーの定番品の取引先への確定発注数量連絡のタイミングに最も近いものを1つ回答してください。(N=156)

いものを1つ回答してください。(N=156)



- パンや惣菜カテゴリーにおいては「12～24時間未満前」に連絡する企業の割合が前年より低下し、より遅いタイミングでの連絡を選択する企業が増加している。
- これにより、昨年度以上に発注リードタイム延長の実施が広まっていることが示唆される。

2023年度はヨーグルト飲料については測定していない。

適正発注(発注の早期化)を促すレターの発出について

■ 適正発注（発注の早期化）実施企業名、適正発注（発注の早期化）事例などについて、特に地方の中堅・中小小売業も含む形での認知拡大を図るために、各社の社長宛に下記情報を含むレターを発出することとし、適正発注（発注の早期化）の意向を確認する

項目	詳細
実施方法	アンケートを発出する小売業約1000社の社長宛に郵送を行う。
発送者名義（案）	<ul style="list-style-type: none">・ 食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチームを構成企業の代表者名・ （農林水産省）・ 公益財団法人流通経済研究所
賛同人（案）	<ul style="list-style-type: none">・ 適正発注（発注の早期化）を実施している企業のなかから、本件の賛同を得られた企業の代表者名
添付資料（案）	<ul style="list-style-type: none">・ 「物価高騰の中での期限内食品の有効活用に関する意見交換会」農林水産大臣から食品製造流通事業者へのメッセージ・ 10月のプレスリリース抜粋版・ 実証実験結果・ 事例集・ 納品期限緩和、及びその他の状況、公表の可否、及び今後の意向伺い書